

産業廃棄物処理業

# 経営塾

2019年度 第16期生 募集要項

*Pride, Dream, Mission,*  自分の使命に、夢と誇りを。



公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

# 開塾のごあいさつ

産業廃棄物処理業経営塾 塾長  
岡山大学 名誉教授

## 田中 勝



世界の人口の増加と経済成長とともに、人々の購買力は向上し、社会でより多くのモノが生産・消費され、廃棄物の増加となります。世界の廃棄物発生量は2010年には105億トン/年が2050年には220億トン/年になると推定されました。これらが廃棄物処理業界により回収され、リサイクルや処理処分がされます。一方、限られた資源や、環境容量を持っている地球の存続のために、私たちの豊かな生活を維持しながら、資源を大切にし環境を大切に社会、すなわち循環型社会の構築が求められており、それには廃棄物分野の高い技術やノウハウを生かした戦略的なマネジメントが重要になってきました。

開発途上国の廃棄物は未だ収集もされない、収集されても野焼きを伴うオープンランピングという、空き地に投棄するレベルの低い処理がされています。ところが経済の発達とともに、環境負荷の少ないリサイクルや、焼却処理等の中間処理の導入が進み、高いレベルの適正処理が求められるようになりました。そのための投資も拡大し、今や世界中で高度な技術やノウハウを活用する専門の廃棄物処理業者が必要とされています。日本にも専門の廃棄物処理業者が育ってきていますが、欧米のメジャーのような、資金力、技術力、人的資源の充実した、国際競争にも負けない企業に育て欲しいと期待しています。そのような企業に育つことが、国内における廃棄物処理においても、適正処理が保証され、安心して処理を委託される廃棄物処理企業が育つことになるわけです。

産業廃棄物処理業経営塾では産業廃棄物処理業界に『読み、書き、そろばん』の出来る、実力のある人材を育てることが出来ればと願っています。「読む」という意味には、文字に書いた文章を日本語であろうが外国語であろうが読めるということもありますが、先を読む力、人の話の本質を読む力も含まれています。物を作れば、それらは必ずいずれ廃棄物になるので、製造者は廃棄物になった後のことを読んで、物の設計や素材の選定をすることが求められています。先を読むこと、これが廃棄物学の基礎です。次に「書く」ですが、会議の議事録を執ったり、挨拶文を書くことも重要ですが、企業の将来ビジョンを描き、それを達成するシナリオを「書く」ことが経営者にとっては重要です。「そろばん」は、どのような選択をすれば社会にとって得になるかを判断する能力です。社会にとって、日本にとって、今や地球にとって得なことを判断し、経済的な側面だけでなく社会の信頼を向上する上でプラスになるかどうかの判断が出来ることがますます重要であると思われます。このように人間力を高める「読み、書き、そろばん」の能力を高めていただきたいと思います。

廃棄物処理業界は循環型社会の構築に貢献しています。皆さんは、このように重要な廃棄物処理業界で活躍できることを誇り(Pride)に思い、欧米の企業に負けない一流の企業にすることを夢(Dream)見て、又廃棄物処理は私たちに任せてもらいたいという使命感(Mission)を持ってもらいたいと思う。この誇り、夢、使命感のPDMを大切にしてください。PDMを常に心に抱けるように経営塾で学んで欲しいと思います。

産業廃棄物処理業  
経営塾  
について

### 塾長

岡山大学 名誉教授

田中 勝

### 副塾長

(株)エックス都市研究所 相談役

青山 俊介

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事

由田 秀人

### 事務局

名称 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団

設立 平成4年12月3日 財団法人産業廃棄物処理事業振興財団  
平成24年4月1日 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団  
(公益財団法人移行認定)

指定 産業廃棄物の処理に係る特定施設の整備の促進に関する法律第16条に基づく厚生大臣指定法人(平成4年12月24日:厚生省収生衛第1073号)、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第13条の12に基づく産業廃棄物適正処理推進センターとしての厚生大臣指定法人(平成10年7月1日:厚生省収生衛第879号)

# 「産業廃棄物処理業経営塾」に入塾すると…

## 1 各分野の専門家による実践的なカリキュラムを提供

開催日	カリキュラム	時間
6/14 (金)	産業廃棄物処理事業概論	開塾式14:00～ 開塾懇親会17:30～
6/27 (木)	産業廃棄物にかかる法制度・行政	10:15～15:50 講義終了後に懇親会を予定
7/11 (木)-12 (金)	夏季合宿研修	11日 11:00集合 12日 17:00解散
8/2 (金)	産業界・排出事業者	10:15～15:50
8/29 (木)	コンプライアンス	10:15～15:50
9/5 (木)	産業廃棄物処理業の経営	10:15～15:50
9/6 (金)	施設見学	
10/10 (木)	労働安全	10:15～15:50
10/24 (木)-25 (金)	秋季合宿研修	24日 12:30集合 25日 17:00解散
11/14 (木)	廃棄物技術	10:15～15:50
11/28 (木)	財務・金融	10:15～15:50
12/12 (木)	ワークショップ ～AI・IoTとどう向き合うか～	10:15～16:10
12/13 (金)	処理業経営者に期待すること	10:15～15:50
	卒塾レポート提出	卒塾面談
1/24 (金)	卒塾式	15:30～17:00

\*講師の都合により、カリキュラムの日程が入れ替わる場合がございます。

## 2 ネット広場による講義のフォローアップとネットワークの強化

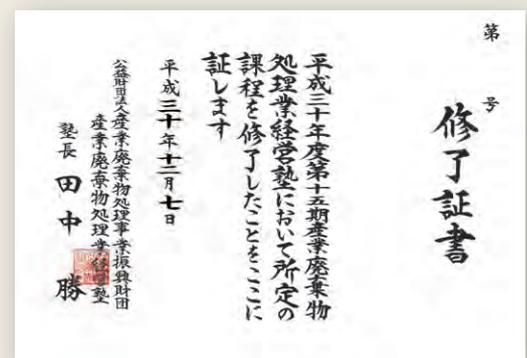
入塾と同時に、ソーシャルネットワーキングサイト(SNS)「ネット広場」に入会できます。「ネット広場」では、講義の公開(一部除く)や、同期生や卒塾生と在塾期を越えて交流できるほか、当財団からのお知らせや国の動向を受け取ることができます。



- 講義の公開
- 事務局からの情報発信(国の動向、イベントの広報)
- 塾生・卒塾生同士の情報交換・意見交換

## 3 「修了証書」を授与

卒塾生には、「産業廃棄物処理業経営塾」修了証書を授与いたします。この修了証書が、優良な産業廃棄物処理業の経営責任者として評価され、施設建設や事業運営に際しての信用力としても活用されるよう、他に類のないカリキュラム、講師陣によって運営を行います。また、その信用力を担保するため、入塾資格を厳しく審査すると共に、個別に卒塾面談を行い、卒塾生の資質を高めるよう配慮いたします。



\*前年度の見本になります。

6/14 (金)

## 産業廃棄物処理事業概論

開塾式: 14:00

開塾懇親会: 17:30

最初の講義として、経営塾の講義の概要、卒塾条件などの説明。産業廃棄物処理業の展開状況や制度・国際的な動向を鳥瞰すると共に、産業廃棄物処理の経営・優良処理業者育成などの今日的潮流を講義。

担当講師 **田中 勝** 塾長／岡山大学 名誉教授



64年京都大学卒業。70年米国ノースウェスタン大学大学院修了。同年米国ミシガン州立ウェインズテイト大学助教授、76年厚生省に入省、92年国立公衆衛生院廃棄物工学部長、00年岡山大学環境理工学部教授、08年公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所長等を歴任。(株)廃棄物工学研究所代表取締役、アジア・太平洋廃棄物専門家会議(SWAPI)代表、有害・医療廃棄物研究会会長を務める。

担当講師 **青山 俊介** 副塾長／(株)エックス都市研究所 相談役



72年東京大学大学院工学系都市工学科修了。82年(株)エックス都市研究所代表取締役就任、06年同社取締役特別顧問、(株)環境構想研究所代表取締役、16年(株)エックス都市研究所相談役、現在に至る。(公社)土木学会地球環境委員会委員長、愛知博覧会政府出展事業環境担当ディレクター、廃棄物学会理事、(社)海外環境協力センター運営委員長、杉並区環境清掃審議会会長などを歴任。主な現職は、(一社)日本有機資源協会副会長、(社)日本プロジェクト産業協議会理事・環境委員長など。

6/27 (木)

## 産業廃棄物にかかる法制度・行政

1 限目講義: 10:15~11:35

2 限目講義: 12:40~14:00

3 限目講義: 14:30~



## 1 限目 産業廃棄物処理行政の現状と今後の展望について

我が国の産業廃棄物処理行政の担当部署の責任者から、廃棄物処理法改正の内容、PCB廃棄物処理、循環型社会の構築に向けた産業廃棄物処理業の振興方策、循環資源の越境移動への対応等について講義。

担当講師 **成田 浩司** 環境省環境再生・資源循環局産業廃棄物規制課長

94年環境庁(現環境省)採用。衆議院法制局、大気環境課、環境副大臣秘書官事務取扱、産業廃棄物課、在中国日本国大使館経済部一等書記官、大臣官房政策評価広報課、四国経済産業局総務企画部長、警察庁生活安全局都市防犯対策官、地球環境局市場メカニズム室長などを経て、17年7月より現職。



## 2 限目 地方における廃棄物行政

一層信頼される処理業者を目指して、現場の事例を踏まえたコンプライアンスに関する講義。

担当講師 **是永 剛** 長野県環境部環境政策課 環境審査係長

91年長野県職員拝命。県庁、出先機関において産業廃棄物の許可可、監視指導業務を中心に環境行政に携わる。17年県庁環境政策課で環境影響評価担当(個別の産廃事案に引き続き対応中)。出版など:「簡単ガイド廃棄物処理法直近改正早わかり」(06年日本環境衛生センター執筆協力)、「廃棄物処理法いつ出来た? この制度」(08年日本環境衛生センター共同執筆)、「ここまでわかる! 廃棄物処理法問題集」(10年産業環境管理協会 共同執筆)。委員など:04年~環境省環境調査研修所「産業廃棄物アカデミー」講師、03~07年環境省「今後の産業廃棄物行政のありかた研究会」委員、14年信州大学非常勤講師。

## 3 限目 意見交換会

3限目終了後に懇親会を予定しています。(19時終了予定)

7/11(木) 12(金)

夏季合宿研修【金山研修センター・ゼミナールプラザ(名古屋)】

11日:11:00集合

12日:17:00解散



## ① 塾生企業の紹介

## ② 合宿研修【中長期ビジョンの策定と経営戦略の立案】

規制業界ならではの視点に注目しながら、経営の重要資源である「ヒト・モノ・カネ・情報」をどのように計画的に扱いながら安定した経営を実現させていくのかを考える。単なる講義だけでなく、ディスカッションを交えながら実践に活用できるよう学習を深めていく。テキストには『中期経営計画の立て方・使い方』を使用する。要事前学習。

担当講師 中尾 光宏 パスファインダー・コンサルティング 代表

89年北海道拓殖銀行入行。97年からゲーム会社の人事・採用、ゲームベンチャーの創業、上場IT企業のCFOなど経営管理全般に従業。08年の独立からベンチャーやIPO準備企業などの管理系構築を支援。研修では管理職育成や経営計画立案などを中心に手掛ける。個別企業に寄り添う長期かつ常駐に近い形態のサポートに定評。神戸大学大学院経営学研究所修了。国立明石高専非常勤講師(現任)、元同志社大学、元帝塚山学院大学非常勤講師。

8/2(金)

## 産業界・排出事業者

1 限目 講義: 10:15~11:35

2 限目 講義: 12:40~14:00

3 限目 講義: 14:30~15:50



## 1 限目 キヤノンの環境の取り組みと資源循環

キヤノンの環境目標、方針について説明させていただくとともに、資源循環への取り組み、また、事業拠点における廃棄物処理に関する考え方並びに管理について説明させていただきます。

担当講師 古田 清人 キヤノン(株) 環境統括センター長

82年キヤノン(株)入社。99年生産本部 環境統括技術センター 環境企画課長、02年グローバル環境推進本部 環境統括技術センター 環境企画部部長、07年環境本部 環境企画センター所長、13年環境統括センター所長(組織名のみ変更)。01年グリーン調達調査共通化協議会(JGPSSI)議長。欧米の工業会とJIG(Joint Industry Guide)を発行。並行してIEC TC111日本エキスパートを務め、IEC62474規格並びにIEC63000など環境関連の規格発行に係わる。現在、IEC TC111、並びにMT/VT62474のエキスパート並びに国内委員会主査。環境省(エコアクション21など)の委員を務める。



## 2 限目 持続可能社会の実現に向けたセメント産業の取り組み

産業界や一般家庭から発生する廃棄物・副産物の多くは、セメント主成分と同様の成分で構成されているため、セメント産業は、様々な産業や自治体などと連携を図りながら、天然資源の保全と共に、廃棄物の最終処分場の延命に大きく貢献している。特に、二次廃棄物が発生しないことや高温プロセスによりダイオキシン類の発生が極めて少ないという特徴がある。

担当講師 和泉 良人 元 太平洋セメント(株)

北海道大学大学院修士課程修了後、77年米国ノースウェスタン大学大学院にてPh.Dを取得。78年小野田セメント(株)(現:太平洋セメント(株))に入社。92年新規分野研究所長、SD(持続可能なための発展)推進室長、CSR推進部部長を経て10年退職。同年、(一社)セメント協会生産・環境部門SD推進審議役、15年より同部門嘱託にて、工学院大学非常勤講師、(公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)副主席研究員などを兼務しながら現在に至る。

6/14

6/27

7/11  
12

8/2

8/29

9/5

9/6

10/10

10/24  
25

11/14

11/28

12/12

12/13

1/24

募集要項



### 3 限目 サステナブルな社会構築に向けての産業廃棄物処理業と建設業の連携

日本建設業連合会が取り組む循環型社会の実現に向けた建設廃棄物の削減とリサイクル推進への活動を紹介し、また、建設業・処理業が協力して行う、市民・NPO、NGO等との繋がりを考慮したCSR実践事例を紹介し、

**担当講師** 田邊 貞幸 (一社)日本建設業連合会 環境部 建築副産物部会 副部会長

82年五洋建設(株)入社、20年間建築工事現場の管理を担当した後、東京支店安全品質環境部で現場の環境管理指導を担当、現在に至る。11年日建連環境部 建築副産物部会副部会長に就任、NPO法人環境ネットワーク・文京 理事、日本自然保護協会自然観察指導員東京連絡会 抜け殻伝道師、セミの抜け殻しらべ市民ネット 会長。

8/29 (木)

## コンプライアンス

1 限目 講義: 10:15~11:35

2 限目 講義: 12:40~14:00

3 限目 講義: 14:30~15:50



### 1 限目 廃棄物処理法遵守の心得

廃棄物処理法の趣旨、遵守の必要性、「行政処分」の指針、事例を中心とした欠格要件などについて廃棄物処理法を体系的に講義。

**担当講師** 鈴木 道夫 橋元総合法律事務所 弁護士

87年中央大学法学部法律学科卒業。88年司法試験合格。89年最高裁判所司法研修所司法修習生(第43期)。91年弁護士登録(東京弁護士会所属)。02年東京弁護士会常議員、12年最高裁判所司法研修所民事弁護教官、03年環境省アドバイザー(「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」に基づく実施計画書の審査に関する委嘱)、04年産業廃棄物適正処理推進センター運営協議会委員長。



### 2 限目 リスクマネジメント

廃棄物処理業の鍵となる信頼確保のため、契約書及びマニフェストの管理の注意点、他法令を含めたコンプライアンスの課題と対応、顧客及び住民等からのクレームを受けた場合の対応、行政指導、立入検査への対応等のリスク管理について、事例を参考に講義。

**担当講師** 佐藤 泉 佐藤泉法律事務所 弁護士

第一東京弁護士会所属。主な業務:環境問題、特に廃棄物処理法及び土壌汚染対策法その他の環境関連法についての、紛争解決及び法律相談。第一東京弁護士会:環境保全対策委員会委員、東京都廃棄物審議会委員、経済産業省産業構造審議会臨時委員。



### 3 限目 事例に学ぶ廃棄物管理【グループ討議】

**担当講師** 長岡 文明 BUN環境課題研修事務所 主宰

80年山形県技術吏員として入庁。09年文化環境部循環型社会推進課課長補佐を退職。03年より環境省「今後の産廃行政研究会」委員、12年より環境省「PCB廃棄物の適正保管・早期処理の推進に関する調査検討委員会」委員、05年より環境省環境調査研修所講師、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター講習会テキスト編集委員を務める。著書に、「土日で入門、廃棄物処理法」(日環センター)、「廃棄物処理法問題集」(産環協)などがある。



## 1 限目 総合環境企業を目指すタケエイグループの事業展開

建廃からスタートした同社は現在、総合環境企業をめざし、業容拡大に取り組んでいる。その一環として再生可能エネルギー事業にも積極的に進出。同社会長より、新規事業開発、協業・業務提携・M&A等のグループ連携、地域との共生、今後の事業展開や課題、次世代への期待等について講義。

**担当講師** 三本 守 (株)タケエイ 代表取締役会長

68年個人企業として建設廃棄物の収集・運搬・処理を手がけ始める。77年武栄建設興業(株)を設立、取締役就任。83年代表取締役就任。88年(株)タケエイに社名変更。10年代表取締役会長就任。(公社)全国産業廃棄物連合会理事、(一社)千葉県産業廃棄物協会副会長、環境省・国土交通省の各種委員会委員など多数歴任。18年(公財)日本産業廃棄物処理振興センター理事就任(現任)。



## 2 限目 魅力あるリーダーとは

魅力あるリーダーとは、部下の立場を理解・支援することはもちろんのこと、会社をよくするためにという経営者の視点も持って行動することが必要だと考えます。基本的な考え方はもちろんの事、ワークを交えて社内ではきづいていない自分の長所や短所にも目を向け、魅力あるリーダーを目指して頂きます。また、学生時代からサークル等のリーダーとして、100以上の部下指導を経験したからこそその失敗談や苦労話、経験談なども交えてお話させて頂きます。

**担当講師** 加藤 宣行 加藤商事(株) 代表取締役

67年東京生まれ。91年東海大学法学部法律学科卒業。同年加藤商事(株)入社、03年代表取締役就任。積極的に新卒採用を行い組織力の強化を図る。09年(社)全国産業廃棄物連合会・青年部協議会会長就任。CO<sub>2</sub>マイナスプロジェクトを立ち上げ、青年部のみならず業界団体の知名度アップ及び組織力強化に尽力。17年5月(一社)日本PCB全量廃棄促進協会の会長に就任し、PCB廃棄物の全量廃棄に向け処理の推進を図っている。



## 3 限目 当社の社員採用・育成・社員満足向上(ES)の取り組みと地域活動(CSR)について

近年の少子高齢化等により、従業員の確保が難しくなっています。また、働き方改革関連法の成立によって、企業は働き方改革を推進していかなければなりません。当社では20年前から新卒採用を行い、様々な研修をはじめ社員教育に力を入れてきました。また、人手不足に対応するために事務部門の省力化を進めています。このような活動や地域でのCSR活動について、当社の事例を説明いたします。

**担当講師** 尾崎 俊也 アースサポート(株) 代表取締役社長

92年三和銀行(現三菱UFJ銀行)入行。その後退職し米国ロチェスター大学経営大学院でMBAを取得。96年アースサポート(株)入社、02年社長就任。業界活動では11年から2年間、全国産業廃棄物連合会青年部会長。18年から島根県産業廃棄物協会の会長を務めている。地域活動としてプロバスケットボールB.LEAGUE所属の島根スサノオマジックの社長を14年から3年間務め、現在はB.LEAGUEの理事を務めている。

9/6 (金)

## 施設見学【東京スーパーエコタウン】



10/10 (木)

## 労働安全

1 限目 講義：10:15～11:35

2 限目 講義：12:40～14:00

3 限目 講義：14:30～15:50



## 1 限目 労働安全についての概要

前段で、産廃処理業に関する労働安全の注意点と、他業種での事故事例を中心に労災事故防止について。後段で、最近とみに増加している社員の精神衛生についての管理と対処法についてお話をさせていただきます。

**担当講師** 市川 博昭 NTS総合社会保険労務士法人 代表社員

青山学院大学法学部卒。90年都市銀行入行。98年JASDAQ総合商社 総務部転職。00年社会保険労務士合格、翌年開業。07年特定社会保険労務士登録。16年NTS総合社会保険労務士法人代表、現在に至る。社会保険労務士法人 人事サポートセンター(前身)代表社員、(株)人事サポートセンター(コンサル部門 関連会社)取締役。



## 2 限目 廃棄物処理業における事故防止に関する取り組み

全ての産業において労働災害撲滅は、永久的に取り組まなければならない最優先課題です。経営者として労働安全の組織づくりに積極的に取り組むことにより、企業存続のための礎を築き、経営者としての責任を果たすことの重要性を、経験した事故事例などを基にお話しさせていただきます。

**担当講師** 矢野 智孝 (株)吉勝重建 代表取締役

97年福井工業大学建設工学科卒業後、建設工事現場監督を実務経験。01年(株)吉勝重建入社、09年代表取締役就任。全国産業廃棄物連合会・青年部協議会副会長・統括幹事等歴任。10年福井県建物解体業協会会長就任。全国解体工事業団体連合会にて16年理事に就任し、技術安全委員会の委員として解体工事施工技術講習の講師を務める。



### 3 限目 産業廃棄物処理業における事故災害防止に関する当社の取り組み事例

我々の業界は他産業に比べ、労働災害の発生件数が非常に高い。近年、「従業員の採用・定着」が社会的な課題となっているが、「安全・安心な職場と環境」という土台がなければ、人の採用や廃棄物の適正処理は成り立たない。「人を育て、人を創り、人で勝負する」という理念を掲げ、当社で取り組んでいる安全対策をお話しさせていただきます。

担当講師 高橋 潤 高俊興業(株) 代表取締役社長

73年生まれ。96年東洋大学経営学部商学科卒業。96年(株)フジタ入社。00年高俊興業(株)入社、15年8月に代表取締役社長に就任。現在の社外活動：(一社)廃棄物処理施設技術管理協会理事、(一社)東京都産業廃棄物協会 建設廃棄物委員会・中間処理委員会・法制度検討委員会委員、(公社)全国産業資源循環連合会 人材育成方策調査検討会委員。

10/24(木) 25(金)

秋季合宿研修【クロス・ウェーブ梅田(大阪)】

24日：12:30集合

25日：17:00解散



#### ① 取組事例紹介

##### 我が社「オガワエコノス」の67年の歩み

67年前、創業当時「し尿収集」から始まった当社は、その後昭和56年には家庭ごみを中心とした「資源ごみリサイクル業務」を開始し、平成15年からは産業廃棄物を中心とした「RPF製造業務」を始めた。「三方よし」の経営方針の元、世の中の役に立つ仕事を時代の流れに沿って先行して始めた結果が現在に繋がっている。その歴史と経験、経営判断の背景などをお話する。

担当講師 小川 勲 (株)オガワエコノス 代表取締役会長

74年立教大学経済学部を卒業後、一般企業を経て父親の経営する「小川興業(現オガワエコノスの前身)」に入社。以来一貫して現場の第一線に立ち事業推進の陣頭指揮を執る。01年より(社)広島県産業廃棄物協会の理事、11年には(一社)広島県資源循環協会会長に就任。広島県の不法投棄防止、適正処理、3Rについて協力し、推進してきた。(一社)日本RPF工業会の理事として、廃棄物固化燃料(RPF)の普及にも貢献している。地域においても「3Rの教育・啓発」に取り組み、「リサイクルに係る人材の育成」にも注力。そうした活動が評価され、14年広島県知事より「ひろしま環境賞」、15年環境大臣より「循環型社会形成推進功労者 環境大臣表彰」を受賞した。

#### ② グループ討議ガイダンス

担当講師 青山 俊介 副塾長 / (株)エックス都市研究所 相談役

#### ③ グループ討議(テーマ別)

11/14 (木)

## 廃棄物技術

1限目講義：10:15～11:35

2限目講義：12:40～14:00

3限目講義：14:30～15:50



## 1 限目 産業廃棄物処理技術〈破碎・選別〉

破碎装置及び選別装置の各機種別の特徴と導入に係る機種選定のポイントや、世界の最新技術について講義。

担当講師 高野 晃 (株)リョーシン 関東営業所所長 営業部課長

80年石川県生まれ。04年(株)リョーシン入社。客先での問題解決に最適なプラント・装置の提案及び営業員の育成を日常業務とし、能力や安全性に於いて世界最先端の技術を組込んだプランニング業務に携わる。



## 2 限目 産業廃棄物処理技術〈焼却・熱回収〉

廃棄物処理施設と熱回収、その施設費や運営管理、施設計画の注意点などについて講義。

担当講師 松岡 洋平 (株)アクトリー 執行役員 営業グループ担当

90年(株)村田機工(現:(株)アクトリー)入社。技術設計課に所属し、数々のプラント建設を担当。03年技術営業企画室(現:営業グループ営業企画室)へ異動。08年営業本部営業企画室(現:営業グループ営業企画室)室長、11年営業グループ長、15年執行役員営業グループ担当就任。



## 3 限目 産業廃棄物処理技術〈最終処分〉

産業廃棄物処分技術のわが国の第一人者である講師から、最新の最終処分技術とその動向、最終処分の視点から処理事業経営者として踏まえておくべき事項を講義。

担当講師 樋口 壮太郎 福岡大学大学院 工学研究科 教授

72年福岡大学工学部土木工学科卒業。同年日本技術開発(株)入社。97年九州大学大学院博士後期課程修了。01年福岡大学工学部教授着任、02年より同大学大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻、地域環境専修教授兼任、資源循環・環境制御システム研究所所長、現在に至る。審議会等委員多数歴任。





## 1 限目 産業廃棄物処理業者の事業承継・相続

産業廃棄物処理事業者が陥りがちな事業承継及び相続に関する諸問題について、実際に起こった事例を紹介しながら具体的な解決策を説明します。後継者選びのポイント、自社株対策、銀行取引への対応、オーナー経営者の相続対策など産業廃棄物処理業者の事業承継を総合的に取り扱います。

担当講師 **辻 賢之輔** (株)BAMC associates 代表取締役

04年同社設立。経営及び財産管理に関する総合コンサルティング業務を展開。国内5拠点(東京本社、埼玉、千葉、札幌、名古屋)、海外(台湾)に事業所を有する。社員数50名(うち税理士・公認会計士10名)、顧客数は約1,200件(17年1月現在)。



## 2 限目 産業廃棄物処理事業の財務

財務諸表の読み方・解き方の基本を概説し、産廃業の収集運搬・中間処理・最終処分毎に、財務諸表からみた特徴や平均像について紹介し、事業改善のポイント等について講義。

担当講師 **大城 清也** 大城公認会計士・税理士事務所 公認会計士・税理士

85年早稲田大学社会科学部卒業。98年(株)共栄経営研究所入社。同年公認会計士登録、大城公認会計士・税理士事務所設立。02年(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 債務保証事業審査委員(財務担当)就任。自動車リサイクル法の制定に深くコミットするなど、環境政策における税制上の諸課題について、多方面にアドバイスを行っている。



## 3 限目 産廃処理施設建設資金調達時の留意点

産廃処理施設建設資金調達に際し、貸し手である銀行サイドの目線、チェックポイントと借り手である処理業者サイドの対応策、留意点等につき、リサイクル施設、焼却炉、処分場のケースに基づき説明。

担当講師 **山下 新介** (公財)産業廃棄物処理事業振興財団 業務部長

79年東京大学経済学部卒業。同年三井銀行(現三井住友銀行)入行。98年大阪北支店副支店長、00年新宿新都心支店長、大企業、中堅・中小企業向け各担当審査部に延10年半。10年(公財)産業廃棄物処理事業振興財団業務部長に就任、現在に至る。

12/12 (木)

## ワークショップ ～AI・IoT どう向き合うか～

取組事例：10:15～11:35

グループ討議：12:40～14:40

発表：15:10～16:10



### 取組事例 アマゾンのイノベーションから考える新発想のビジネスモデル～AWSを活用する資源循環の未来～

企業形態、働き方が大きな変革を迎える日本において、皆さんの生活を豊かにするアマゾンのサービス、製品、そのイノベーションがどのように生まれ活用されているのか。またAI/IoT技術で、産業廃棄物処理業（資源循環ビジネス）の未来を変えていく方法について、一緒に考えます。

**担当講師** 門田 進一郎 アマゾン ウェブ サービス ジャパン(株) ストラテジック アカウントマネジメント本部 IoTソリューション・スペシャリスト

99年に日本電信電話(NTT)に入社。国内/海外ネットワークやクラウドサービスを展開するNTTコミュニケーションズで法人向け事業の技術分野からサービス企画開発、営業までを横断的に経験。15年にアマゾン ウェブ サービス ジャパンへ転職。IoTを中心とするAWSソリューションを、日本の中堅・中小/スタートアップ企業のお客さまに推進しています。

### グループ討議

### 発表

12/13 (金)

## 処理業経営者に期待すること

1限目講義：10:15～11:35

2限目講義：12:40～14:00

3限目講義：14:30～15:50



### 1 限目 リサイクル事業の新たな展開

19年4月に発足した「J&T環境」の経営方針および事業内容のご説明に併せ、リサイクル事業と電力事業のシナジー例として、食品リサイクル事業への取り組み等についてご紹介させていただきます。

**担当講師** 露口 哲男 J&T環境(株) 代表取締役社長

83年慶應義塾大学経済学部卒業。83年日本鋼管(株)入社。00年環境ソリューションセンター企画営業部、03年JFEホールディングス(株)環境ソリューションセンター企画部、09年エネルギー本部 エコパワー事業部長、11年常務執行役員 海外事業本部副本部長、15年常務執行役員 アクアソリューション本部長、16年専務執行役員 アクアソリューション本部長、17年専務執行役員 環境本部副本部長、18年取締役専務執行役員 リサイクル・発電事業本部長。19年JFE環境(株)代表取締役社長。(4月1日よりJ&T環境(株)に社名変更)



### 2 限目 循環型社会の構築とわが社の事業展開

廃棄物分野で先駆的に事業拡大に取り組む同社代表取締役副社長より、これまでの事業戦略と事業拡大の変遷、国内外の動向や業界の動きを見据えた近未来への戦略及び課題等について講義。

**担当講師** 岩楯 保 (株)市川環境エンジニアリング 代表取締役副社長

99年三和清運(株)入社。07年(株)市川環境エンジニアリング入社。10年取締役、18年代表取締役副社長就任。14年から産業廃棄物処理業経営塾OB会副会長、17年から(一社)千葉県産業資源循環協会理事。



### 3 限目 「産業廃棄物処理業の認知度を高める」ブランディング戦略とは ～マイナスからプラスへ転じる「見せる五感経営」～

資源循環型社会には、産業廃棄物処理事業は必要不可欠な静脈産業です。然しながら業界は負のイメージが蔓延し、認知度が低い。多くの若者が働きたいと思える魅力ある職場創りが、持続可能な企業・業界に繋がります。「自然と人と技術」が共生する、石坂流・五感経営を紹介します。

担当講師 石坂 典子 石坂産業(株) 代表取締役

72年東京都生まれ。米国に短期留学後、父が創業した産業廃棄物中間処理業の石坂産業に入社。埼玉県所沢市周辺の農作物がダイオキシンで汚染されているとの報道を機に、「私が会社を変える」と父親に直談判し、02年社長、13年に代表取締役に就任。「自然と地域と共生する企業」を目指し、共に育み共に栄える100年先の企業づくりに挑戦。「見せる・見られる」五感経営を実践し、世界中から見学者が訪れる先進的な環境配慮型企業に変革させた。里山保全再生に取り組み、JHEP(ハビタット認証制度)最高ランク「AAA」を取得。18年日刊工業新聞社 優良経営者顕彰第35回記念特別賞 優良経営者賞受賞、19年「平成30年度財界／経営者賞」受賞、19年「エイボン女性年度賞2018／ソーシャル・イノベーション賞」受賞、石坂産業・創業51年を迎え～産業廃棄物処理事業から資源再生事業への転換～「2018年度日本経営品質賞／経営革新推進賞」受賞。多数のメディアに出演・取り上げられ、全国の団体・行政・学校から講師・講演依頼が殺到している。

必修 卒塾レポート提出

必修 卒塾面談 ※日程は個別に設定

2020  
1/24 (金) 卒塾式 15:30～17:00



## 産業廃棄物処理業 経営塾OB会

### 運営／活動内容

経営塾OB会は自主的かつ独立した運営を行っており、各卒塾期の代表からなる幹事会において年間活動計画を立案し、運営しています。主な活動としては、施設見学、企業経営者等による講演会のほか、全国の卒塾生のネットワークを活かして、業界のさらなる発展を目指す地域別ワークショップ活動や、関係省庁・団体への提言等の情報発信を行っています。

### 主な年間行事

- 定時総会
- 施設見学
- 地域別ワークショップ活動(年数回)
- 成果発表会・賀詞交換会
- 勉強会等

- 卒塾生間の連携とネットワークの強化
- 産業廃棄物処理業の成長・発展のための行政、排出事業者等への提案・情報発信

日 程

2019年6月～2020年1月(8ヵ月)

講 義 数

26講義+合宿研修(2回)+施設見学

講 義 時 間

通常講義

- 1限目 10時15分～11時35分
- 2限目 12時40分～14時00分
- 3限目 14時30分～15時50分

会 場 (講義&合宿研修)

講 義 会 場

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団内 会議室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-18 ヒューリック虎ノ門ビル10階



最寄駅：東京メトロ銀座線 虎ノ門駅(9番出口)より徒歩1分  
 東京メトロ千代田線・日比谷線・丸ノ内線 霞ヶ関駅より徒歩5分  
 都営地下鉄三田線 内幸町駅より徒歩5分  
 JR線・都営浅草線 新橋駅(日比谷出口)より徒歩10分

合 宿 研 修



夏季合宿研修【金山研修センター・ゼミナールプラザ】

〒460-0024 愛知県名古屋市中区正木3-7-15  
 TEL.052-387-6410



秋季合宿研修【クロス・ウェーブ梅田】

〒530-0026 大阪府大阪市北区神山町1-12  
 TEL.06-6312-3200(代表)

## 募集要項

### 応募資格

以下のいずれかに該当する者であること。また、①及び②に該当する者が勤務する企業においては、過去5ヶ年にわたって廃棄物処理法などの法令違反に問われていないこと。

- ① 優良な産業廃棄物処理業者としての評価を得ている企業の経営者または経営の一翼を担っている者。
- ② 優良な産業廃棄物処理業者としての評価を得ている企業の技術面における統括管理者であり、産業廃棄物処理に関する技術資格を有する者。
- ③ 産業廃棄物処理業に準ずる豊富な経験を有し、今後、産業廃棄物処理業に新規参入を検討している企業において、①・②の条件に対応した要件を満たす者。
- ④ その他、本塾生として受講を認める相当の理由があるとして塾長が認めた者。

### 受講料

**54万円(税込)**

(受講料にはテキスト代、合宿研修費等が含まれています。)

## 申し込み方法

### 提出書類

入塾願書と顔写真2枚(4cm×3cm)

### 応募締切

**2019年5月10日(金)まで**

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

### 選考方法

当財団の審査により選考いたします。

### 支払方法

請求書を送付いたします。

(全額前納とし、納入後は事情によらず原則として返金はいたしません。)

## 入塾までの流れ

### 入塾願書提出

下記書類を事務局までお送りください。

1. 入塾願書
2. 顔写真2枚(4cm×3cm)

1枚は入塾願書に貼り付け、  
1枚は同封してください。

入塾審査結果をご連絡いたします。

### 受講料の支払い

入塾者に請求書を送付いたします。期日までに受講料を指定口座にご入金ください。  
なお、振込手数料は貴社にてご負担ください。

入塾式の案内を送付いたします。

### お問い合わせ・願書提出先

**(公財)産業廃棄物処理事業振興財団**

〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1丁目1-18  
ヒューリック虎ノ門ビル10階  
TEL.03-4355-0155 FAX.03-4355-0156

窓口／兼子  
E-mail : jyuku@sanpainet.or.jp

 **公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-18 ヒューリック虎ノ門ビル10階

Tel.03(4355)0155 Fax.03(4355)0156

**URL** <http://www.sanpainet.or.jp>